２０２６年１１月２０日
イ オ ン 株 式 会 社

イオングループによる寄付総額７億５，２３５万７，０１４円
首里城復興へ向けたイオンの取り組み

イオンは、沖縄の歴史と文化の象徴であり、世界遺産でもある首里城が２０１９年１０月３１日未明に発生した火災により焼失したことを受け、翌１１月に「イオン 首里城復興支援プロジェクト」を発足し、以来グループ一丸となって首里城の復興を支援してまいりました。このたびの正殿完成以降も引き続き首里城の復元・復興へ向けた取り組みを継続して支援してまいります。

イオングループの主要企業が税引前利益の１%相当額を拠出する公益財団法人イオンワンパーセントクラブ※は、発災直後に沖縄県へ緊急支援金１，０００万円をお届けするとともに、向こう５年間で５億円の寄付を表明し、２０２０年から２０２４年まで継続的に寄付を実施しました。また、イオン琉球株式会社をはじめとするイオングループ各社は、全国の店舗・事業所において首里城再建に向けた緊急支援募金活動を順次実施し、お客さまとともに継続的な復興支援に取り組んでまいりました。さらに、公益財団法人イオン環境財団は、首里城復興支援の一環として将来の首里城の建材となるイヌマキの苗木をお客さまに一定期間育てていただく「苗木の里親プロジェクト」を発足し、配布した苗木を回収し、植樹しました。

イオングループによる寄付総額は、イオンワンパーセントクラブによる５億１，０００万円に加え、全国のお客さまからお寄せいただいた店頭募金や、電子マネー「首里城ＷＡＯＮ」を通じた寄付、チャリティーバザー収益金などの２億４，２３５万７，０１４円を含め、７億５，２３５万７，０１４円となりました。

首里城復興を支えるイオンの取り組み

- **全国から参加できる継続的な支援の仕組み**
  イオンワンパーセントクラブは、２０１９年の緊急支援金に加え、２０２０年から２０２４年まで沖縄県への寄付を継続しました。また、全国の店舗での募金や「首里城ＷＡＯＮ」を通じて、お客さまが日々のお買物を通じて復興を支援できる機会を広げました。これらのお寄せいただいた支援金は、首里城正殿の復元工事をはじめ、復元を担う伝統技術者の育成などに役立てられています。
  また、イオン琉球では首里城正殿の復興を記念し、２０２６年１１月２３日より、新たな正殿をモチーフにデザインを一新した「新・首里城ＷＡＯＮ」を発行します。
- **将来の復元・修繕を支えるイヌマキの育成と植樹活動**
  イオン環境財団とイオン琉球は、２０２０年から「苗木の里親プロジェクト」を通じて、首里城の将来の復元・修繕を支えるイヌマキの育成と植樹に取り組んでいます。
- **子どもたちへの文化継承と、全国での復興状況の発信**
  イオンワンパーセントクラブは、２０２１年より「イオンチアーズクラブ首里城復興支援ポスターコンクール」を開催し、全国の小中学生が首里城の歴史や沖縄文化を学び、復興への思いを表現する機会を提供しています。イオングループの店舗では、沖縄フェアやパネル展示、ワークショップ、映像上映などを行い、沖縄の文化と首里城復興の歩みを紹介しました。
- **沖縄に根差した支援と地域協働**
  イオン琉球は、首里城復興イベント「木曳パレード」の受け入れや、支援グッズの取り扱い、店舗でのパネル展・ぬり絵展などを実施しました。「九州・沖縄イオン会沖縄支部」の企業やマスコミとも連携し、募金にとどまらず、地域で復興への関心や参加の輪を広げてきました。

なお、首里城復興支援に関する特設ページでも、これまでの取り組みを紹介しています。
特設ページはこちら：https://www.aeon.info/shurijo/

【首里城復興を支える取り組みの一例】

➢ 全国から参加できる継続的な支援の仕組み



イオンワンパーセントクラブは、火災発生後の２０１９年　１１月、沖縄県に緊急支援金１，０００万円を贈呈するとともに、向こう５年間で５億円を寄付する意向を表明しました。　その後、２０２４年まで継続的に寄付を実施し、首里城の復興を支援しました。

イオン株式会社は、プロジェクト全体を推進し、全国のグループ店舗・事業所で店頭募金を実施しました。また、「首里城ＷＡＯＮ」の利用金額の一部を「首里城基金」へ寄付する仕組みを通じて、お客さまが日々のお買物を通じて復興支援に参加できる機会を設けました。

沖縄県内では、イオン琉球が店舗で募金を実施したほか、「首里城ＷＡＯＮ」の購入金額に対する寄付率を期間限定で通常の０．１%から１%へ引き上げる支援を行いました。お寄せいただいた募金やＷＡＯＮによる寄付金などは、「首里城基金」を通じ、首里城の貴重な文化財の修繕・修復などに役立てていただいています。

➢ 将来の復元・修繕を支えるイヌマキの育成・植樹



イオン環境財団とイオン琉球は、２０２０年１２月に「苗木の里親プロジェクト」を開始しました。首里城の復元・修繕に用いられる沖縄の貴重な木材「イヌマキ」の苗木を地域の里親の皆さまに育てていただき、２０２２年３月と２０２３年３月に各１００本を沖縄県国頭村に植樹しました。２０２３年には「首里城公園友の会」とともにイヌマキの植樹に取り組みました。以降、毎年育樹活動を行っています。

この取り組みは、植樹した苗木を今回の正殿復元に直ちに使用するものではなく、将来の復元・修繕を支える木材を長期的に育てる活動です。

➢ 子どもたちへの文化継承と、全国での復興状況の発信





イオンワンパーセントクラブは、子どもたちが首里城の歴史や沖縄文化を学び、復興への思いを表現する機会の提供を目的に、２０２１年から「イオンチアーズクラブ首里城復興支援ポスターコンクール」を開催しています。２０２５年には全国から８８１点の応募があり、受賞者を沖縄に招待し、入賞作品の展示・表彰式や首里城見学ツアーを行いました。また、ポスターコンクールの作品や首里城の復興状況をお伝えする「首里城復興祈念展」を各地の店舗や空港で開催し、継続的な支援を行っております。

イオングループの店舗では、沖縄フェア、首里城復興パネル展、映像上映、ワークショップなどを実施しました。２０２１年５月には全国５カ所の店舗で「沖縄フェア」を開催し、復興状況を伝えるパネルと支援ムービー「沖縄からありがとう」を展示・上映しました。沖縄の食や文化を紹介するとともに、復興の歩みを全国のお客さまに伝えてきました。

➢ 沖縄に根差した支援と地域協働



イオン琉球は、地域の企業・団体などと連携し、現地での支援活動を推進してきました。首里城復興イベント「木曳パレード」のイオンモール沖縄ライカムでの受け入れに関わったほか、首里城支援グッズの取り扱い、店舗でのパネル展やぬり絵展などを実施しました。

また、「九州・沖縄イオン会沖縄支部」１６０社とマスコミ８社による合同の支援活動に参加しました。地域の多様な主体と協力し、募金だけでなく、復興への関心や参加の機会を広げてきました。

➢ 【イオン琉球】首里城正殿復興記念「新・首里城ＷＡＯＮ」を発行



イオン琉球は、首里城正殿の復興を記念し、２０１０年より発行している「首里城ＷＡＯＮ」のデザインを一新し、２０２６年１１月２３日より、新たな正殿をモチーフにした「新・首里城ＷＡＯＮ」を発行します。２０１０年７月の「首里城ＷＡＯＮ」発行以来、ご利用額の一部を一般財団法人 沖縄美ら島財団の「首里城基金」へ寄付しており、累計寄付額は１億６９９万２，５３３円となりました。新たな券面には、鮮やかによみがえった首里城の姿を多くの方に親しんでいただき、日々のお買い物を通じて首里城の未来を支える輪を広げたいという思いを込めています。

これからもイオンは、お客さま・地域の皆さまとの協働を基盤に、首里城の復興と沖縄の歴史・文化の継承を支援してまいります。

※ イオングループの主要企業が税引前利益の１%相当額を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」、「諸外国の友好親善の促進」、「地域社会の持続的発展」を３つの柱となる事業として活動する公益財団法人です。